

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	埋蔵文化財普及公開事業	所管	教育委員会教育総務部 文化財保護課
			TEL 2998-9253

事業の目的 (何の為に 行うか)	埋蔵文化財である出土遺物・遺構写真等を展示活用し、郷土の歴史や埋蔵文化財保護行政について市民に周知させる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	5,997	人

活動の内容 (何を したか)	①小中学校児童生徒を対象とした来館授業(施設見学)・体験学習(2日間程度)受入・職員派遣による出張授業を行う。 ②一般市民を対象とした施設見学を受け付け、希望によって解説を行う。 ③農政課主催のお花畑公開時期(春・秋)に合わせて臨時開館し、出土品の解説を行うとともに、火おこしや拓本作りの体験をしてもらう。 ④ところざわ旬の市に参加し出土品の一部を展示し公開する。								
	活動実績	項目名	授業受講者数	1121	項目名	一般施設見学者および研修等受講者の総数	3074	項目名	臨時開館・臨時展示会
			----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	25	5,471	23,695	69.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業参加者総数	上記合計人数 * 3項目目のH18年度実績数には巡回展(会場: 所沢市民体育館)観覧者数(850名)を含む	6000	5976	99.6
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算 * 現状どおり 増額 減額 終了	

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了			
		予算 現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120500	TEL	2998-9253		
事業コード	埋蔵文化財普及公開事業		教育委員会教育総務部 文化財保護課					
120517		グループ	埋蔵文化財					
開始年度		平成	6	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市教育行政推進施策			文化財保護法				
	関連・類似事業	市内遺跡出土品巡回展開催事業、文化財保護学習活動支援事業、発掘調査報告会開催事業			埋蔵文化財調査センター条例 所沢市文化財保護法				
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び、文化をはぐくむまち	施策	5節 市民文化	中柱	3 文化財の保存・活用	小柱	(5) 文化財保護意識の向上
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	当市では昭和50年代以降発掘調査が急速に進展したが、埋蔵文化財に関する情報が市民に知られていなかったため、周知する必要がある。小中学校からは、児童・生徒を対象にした社会科学学習の一環として、身近な遺跡について学習する機会を求められている。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)										
	埋蔵文化財である出土遺物・遺構写真等を展示活用し、郷土の歴史や埋蔵文化財保護行政について市民に周知させる。										
	対象(誰を、何を対象としているのか)										
	対象数		単位		平成 18 年度		337,883		人		利用数の考え方
	平成 19 年度		339,058		人		平成 18 年度		5,946		人
事業の具体的な内容及び実施方法											
①小中学校児童生徒を対象とした来館授業(施設見学)・体験学習(2日間程度)受入・職員派遣による出張授業を行う。											
②一般市民を対象とした施設見学を受け付け、希望によって解説を行う。											
③農政課主催のお花畑公開時期(春・秋)に合わせて臨時開館し、出土品の解説を行うとともに、火おこしや拓本作りの体験をしてもらう。											
④ところざわ旬の市に参加し出土品の一部を展示し公開する。											

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())							
	予算		<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
平成19年度中に改善した点										
・市民に最新の出土品を公開するため、多くの来館者を見込める春の臨時開館に合せて、最新出土展示内容を刷新した。 ・土器貸し出し教材セットの申し込みのあった小中学校のうち、希望校には土器等の解説を含めた出張授業を行った。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		82	25	5,496	
	決算(見込み含む)		2,140	5,471		
	(嘱託職員)(臨時職員)	(0.40 人) (1.90 人) (0.70 人) (0.18 人)				
	正規職員人件費		1.09 人	10,028	1.94 人	18,224
	公債費					※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	事業費合計		12,168	23,695		
	財源内訳	一般財源	12,168	23,695	5,496	
	国・県支出金					
	受益者負担金					
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		36.0	69.9			
利用数一単位あたり(単位:円)		2,046.4	3,951.2			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	授業受講者数	来館授業・出張授業・職場体験の受け入れ児童・生徒数	人	747	1121	1690	
		一般施設見学者および研修等受講者の総数	授業以外の見学依頼・派遣申請・研修申し込み等記載人数合計＋通常開館時の一般来館者数	人	2003	3074	3210	
		臨時開館・臨時展示会	臨時開館時の来館者数＋当施設外展示(常設を除く)による来場者数	人	3196	1965	2760	
	成果分析	事業参加者総数	上記合計人数	人	目標値	6000	6000	7660
*3項目目のH18年度実績数には巡回展(会場:所沢市民体育館)観覧者数(850名)を含む			%	実績	5946	5976	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1
				%	達成率	99.1	99.6	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	一般市民や小中学生など各年齢層にあった展示内容(解説文等)やセンター職員による説明であったか。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	分かり易い展示及び解説	小中学生に理解できる展示内容及び解説	平成20年6月	
	巡回展展示内容の刷新	新資料や稀少資料を多く取り入れる。	平成20年6月		
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
埋蔵文化財は、市の貴重な歴史資料であり、市民共有の財産として将来にわたって保存する意義を理解してもらうことが重要である。また、資料を活用することにより、郷土所沢を再発見でき、郷土愛の涵養の一助となる。市民への資料提供を積極的に行う必要がある。					
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	埋蔵文化財調査センター所長 中島岐視生		

⑨個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
優先度評価	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	評価日					
◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ… 有り 計画コード 261						
⑩個別計画における方向性	施策の体系	2-6歴史・文化的環境の保全	施策の方向	2-6-1歴史・文化遺産の保存と活用		
	◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ… 有り 計画コード 1251					
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします				
主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり					
施策の方向	5地域の歴史・文化・自然とふれあう機会の充実					